



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行  
市議団ニュース

ご相談は  
お気軽に  
市議会議員  
福田 明  
43-0468  
市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

# 「子ども手当」の財源が 庶民増税とは

住民税条例の  
改悪に反対

9月議会で市税条例の一部改定が審議されました。日本共産党は、2つの問題点を指摘してこれに反対しました。福田明議員の討論の要点です

問題点の1つは「個人  
の市民税に係る給与所得  
者の扶養親族申告書」の  
提出が義務付けられたこ  
とです。これは民主党政  
権の打ち出した「子ども  
手当」の財源のために、

住民税の年少扶養控除(0  
〜15才、33万円)の廃止、  
特定扶養控除の縮減(16  
〜18才、45〜33万円)に  
ともなう改定です。これ  
によって国全体では毎年  
ベースで4569億円の

大増税になります。  
なお住民税増税に先立  
ち、国税である所得税で  
は年少扶養控除(38万円)  
廃止と特定扶養控除の縮  
減(63〜38万円)が来年  
度から実施されます。  
子ども手当には基本的  
に賛成ですが、その財源  
を庶民増税に担わせるや  
り方には反対です。  
2つ目の問題点は、少  
額上場株取引に係わる「非  
課税口座」を設ける税条  
例の改定ですが、これは  
国民の貯蓄を、リスクの

高い株式投資へと誘導す  
る役割を果たすものです。  
株式譲渡所得について  
も100万円までは非課  
税の優遇措置が設けられ  
ています。株の売買で得  
る譲渡益は、パートで働  
く人の非課税(103万  
円)とは性質がちがいま  
す。株取引に係る非課税  
の優遇措置は必要ないと  
考えます。

## 市民生活に密着した事業 の執行は評価

決算「認定」には不同意

9月議会で審議された市会計の決算認定には不  
同意、保育の充実を求める陳情については採択を  
主張して鈴木やす子議員が討論に立ちました。

議案53号「平成21年度  
北茨城市一般会計、同市  
特別会計歳出歳入決算」  
についてですが、同年度  
の北茨城市一般会計決算  
は、歳入163億217  
0万円、歳出157億8  
100万円で、繰越明許  
費などを除いた実質収支  
額は4億8922万円と  
なっています。

市税収入などが落ち込  
み、自主財源の確保が厳  
しいなか、国の交付金取  
得にも積極的に取り組む、  
また民生費、教育費の比  
率を高め、市長がめざし  
た「市民生活に密着した  
事業の執行」については  
評価いたします。

いっぽうで火葬料金が  
有料とされました。予算  
案の討論で、福田明議員  
は「死は人間にとって究  
極の平等」であり、この  
期におよんでの料金徴収  
は豊田市長の掲げる「感  
謝と思いやり」に反する  
のではないかと指摘しま  
した。そうした点を勘案  
し、本決算の認定には不  
同意を表明するものです。

## 保育制度の充実に関する陳情 の採択を求める

他の議員の反対で不採択

陳情2「保育制度の充  
実に関する意見書提出を  
求める陳情」は、国と地  
方自治体の責任を明記し  
た現行保育制度を基本に  
しつつ、その拡充を求め

## 高萩・北茨城広域工業用水企業団 の経営悪化には国・県の責任も

9月24日、高萩・北茨  
城広域工業用水企業団の  
議会が開かれました。企  
業長である豊田稔市長は  
「厳しい経済情勢のもと  
で揚水型企業誘致がむ  
ずかしくなっているが、  
新規立地企業に対しては  
工業用水の3年間無料措  
置などを生かしながら引  
き続き誘致にむけて努力  
する」とあいさつしまし  
た。

平成21年度決算につい  
ては、監査委員は「同企  
業団は平成元年に給水を  
開始したが、長期の景気  
低迷の影響等により揚水  
型企業の進出は計画を下  
回り、平成21年度は3社  
で減量、1社の廃止など  
があり、現在の受水企業  
の内容です。

いま政府は「地域主権  
改革」の名のもとに、福  
祉や教育に関する国の責  
任を放棄しようとしてい  
ます。特に保育所につい  
ては、最低基準の引下げ、  
給食の外部委託、私立保  
育所の財政的危機などが  
指摘されています。

各地で急増していると  
いわれる待機児童の解消  
には、国と地方自治体の  
責任で保育所を増設する  
ことや保育士の増員こそ  
が求められています。保  
育制度の充実に関する意  
見書提出を求め、これを  
不採択とした委員長報告  
には反対します。



茨城県母親大会が、県立水戸三高を会場に開かれ、1200人の参加で大きく成功しました。

午前中は、子育て・教育・介護・年金・農と食など  
20の分科会で熱心な討論。午後の全体会では、50回を  
数える大会の歩みが写真と語りで紹介されました。

つづいて全国9条の会呼びかけ人の一人でもある澤  
地久枝さんが「いのちの重さ」と題して記念講演。一  
人ひとりの力は弱いけれど、うまずたゆまずあるいて  
いこうと呼びかけました。

県内の各地域もちまわりで開かれている同大会は、  
来年は県北地域での開催が予定されています。